

経営比較分析表（平成30年度決算）

熊本県 南小国町

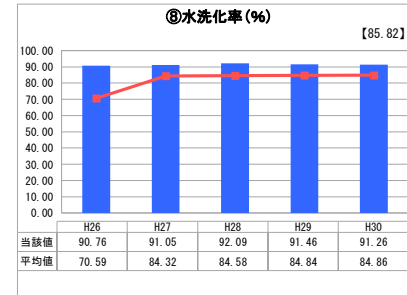
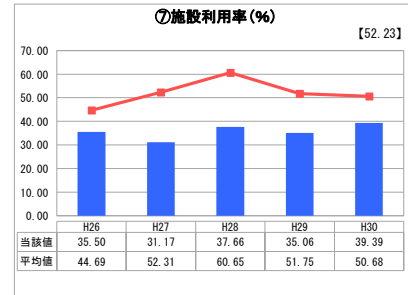
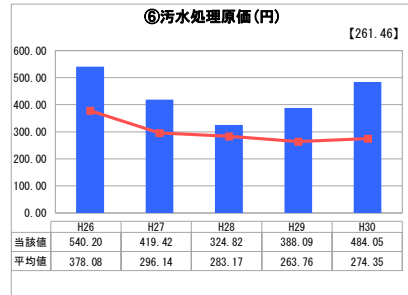
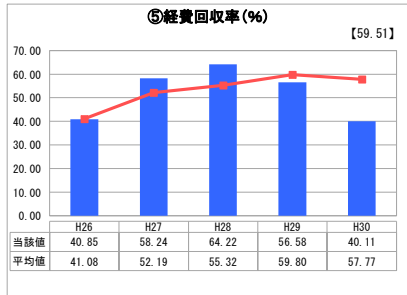
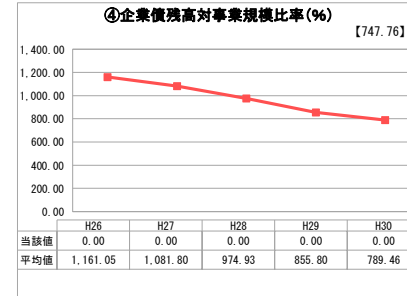
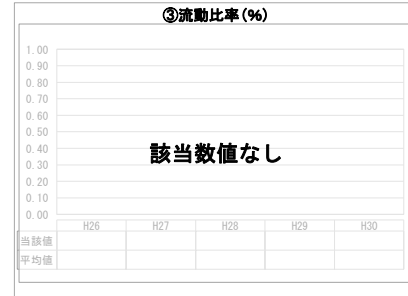
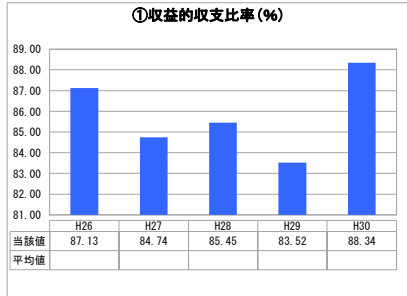
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 10.79 | 100.00 | 3,740 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 4,080 | 115.90 | 35.20 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 435 | 0.51 | 852.94 |

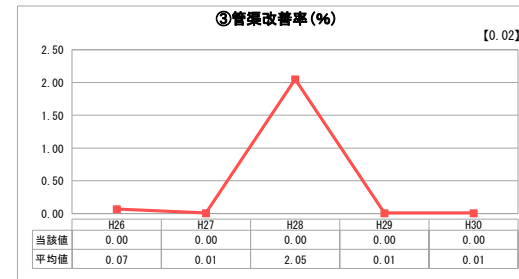
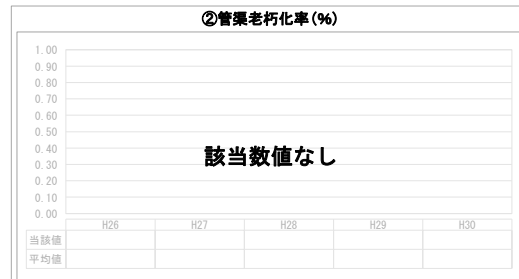
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率の増加、経費回収率の減少、汚水処理原価の増加が見られるが、突発的な修繕によるものであり一時的なものと考えられる。多少の増減はあるものの、比較的安定した経営となっていると思われる。しかし今後の管渠更新への投資計画を見直すことが必要であり、収入増加につながる取組が必要になるとと思われる。

2. 老朽化の状況について

平成12年からの供用開始であり、現段階では老朽化の影響は少ないと思われる。本年度に策定予定の最適整備構想の結果から更新の取組が必要と考える。

全体総括

経営的には比較的安定した経営となっていると考えられるが、今後の管渠更新に向けての、収入増加につながる取組が必要と考える。当面は最適整備構想の策定に伴い、今後の投資計画を含めた経営改善に向けた計画を見直すこととする。

経営戦略：策定済

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。